



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月11日

上場会社名 日本化薬株式会社 上場取引所 東
コード番号 4272 URL <https://www.nipponkayaku.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 川村 茂之
問合せ先責任者（役職名） 上席執行役員 経理部長（氏名） 川村 勉（TEL）03-6731-5842
半期報告書提出予定日 2025年11月12日 配当支払開始予定日 2025年12月1日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	113,575	4.1	10,618	△4.9	10,843	△7.0	11,689	95.7
2025年3月期中間期	109,109	11.4	11,160	134.1	11,666	40.3	5,974	△1.9

（注）包括利益 2026年3月期中間期 15,851百万円（－％） 2025年3月期中間期 305百万円（△98.2％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	75.07	75.07
2025年3月期中間期	36.21	36.20

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期中間期	391,904	269,224	68.4
2025年3月期	373,708	268,520	71.6

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 268,238百万円 2025年3月期 267,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	22.50	—	37.50	60.00
2026年3月期	—	30.00			
2026年3月期（予想）			—	30.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	239,800	7.7	21,300	4.4	20,900	△6.1	20,400	16.5

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	160,000,000株	2025年3月期	165,003,570株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	6,901,699株	2025年3月期	5,117,318株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	155,716,081株	2025年3月期中間期	164,990,275株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(中間決算補足説明資料の入手方法について)

2025年11月12日 (水) に証券アナリスト及び機関投資家向けに決算説明会を開催する予定であります。使用する資料等は、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日まで)の世界経済は底堅い成長を維持しているものの、米国による関税政策や地政学的なリスクなどの不透明感が続いております。

このような状況の中、当社グループは2022年度より開始した中期事業計画“**KAYAKU Vision 2025**”が最終年度に入り、引き続き事業ごとに定めた「ありたい姿=Vision」に向けたロードマップを実行するとともに、ありたい姿実現に向けて定めた全社重要課題に対し取り組みを進めています。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は全ての事業領域で前年同期を上回ったことにより、1,135億7千5百万円となり、前年同期に比べ44億6千5百万円(4.1%)増加しました。

営業利益は、ファインケミカルズ事業領域及びライフサイエンス事業領域が前年同期を上回ったものの、モビリティ&イメージング事業領域が前年同期を下回ったことにより、106億1千8百万円となり、前年同期に比べ5億4千2百万円(4.9%)減少しました。

経常利益は、108億4千3百万円となり、前年同期に比べ8億2千2百万円(7.0%)減少しました。

親会社株主に帰属する中間純利益は、投資有価証券売却益等により、116億8千9百万円となり、前年同期に比べ57億1千4百万円(95.7%)増加しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

【モビリティ&イメージング事業領域】

売上高は462億6千9百万円となり、前年同期に比べ2億7千3百万円(0.6%)増加しました。

セイフティシステムズ事業は、国内は自動車の型式認証不正問題による生産・出荷停止の影響が解消し、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータは前年同期を上回りましたが、エアバッグ用インフレーターは搭載車種の生産終了等もあり前年同期を下回りました。海外はエアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータ及びスクイブが前期に引き続き中国市場向けが順調に推移し、前年同期を上回りました。この結果、セイフティシステムズ事業全体としては前年同期を上回りました。

ポラテクノ事業は、ヘッドアップディスプレイ用遮光板が伸長したものの、液晶プロジェクター用部材が前年同期を下回りました。X線分析装置用部材は主要顧客の在庫調整を受け、前年同期を下回りました。この結果、ポラテクノ事業全体では前年同期を下回りました。

セグメント利益はポラテクノ事業の売上高減少に加え、セイフティシステムズ事業の為替変動を含めた原材料高騰を受け、52億8百万円となり、前年同期に比べ18億1千6百万円(25.9%)減少しました。

【ファインケミカルズ事業領域】

売上高は342億4千5百万円となり、前年同期に比べ16億2千7百万円(5.0%)増加しました。

機能性材料事業は、A I・ハイエンドサーバをはじめとした半導体市況の拡大により、各製品群が堅調に推移したことで、機能性材料事業全体で前年同期を上回りました。

色素材料事業は、コンシューマインクジェットプリンタ用色素が前年同期を下回ったものの、産業用インクジェットインク及び感熱顕色剤が堅調に推移したことに加え、新規二色性色素の寄与もあり、色素材料事業全体で前年同期を上回りました。

触媒事業は、前年同期を上回りました。

セグメント利益は全ての事業において売上高が増加したことにより、49億6千5百万円となり、前年同期に比べ6千1百万円(1.2%)増加しました。

【ライフサイエンス事業領域】

売上高は330億6千万円となり、前年同期に比べ25億6千4百万円(8.4%)増加しました。

医薬事業の国内向け製剤は、抗悪性腫瘍剤ヒト型抗EGFRモノクローナル抗体「ポートラーザ[®]点滴静注液」、バイオシミラー「ベバシズマブBS」、「アダリムマブBS」の市場浸透が進み、前年同期を上回りました。一方で、輸出及び国内向け原薬は前年同期を下回りましたが、医薬事業全体では前年同期を上回りました。

アグロ事業の国内向け販売は前年同期を下回ったものの、輸出が前年同期を上回り、アグロ事業全体としては前年同期並みとなりました。

不動産事業は、前年同期を下回りました。

セグメント利益は売上高が増加したことに加え、販管費の減少により53億1千6百万円となり、前年同期に比べ17億2千6百万円(48.1%)増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

総資産は3,919億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ181億9千5百万円増加しました。主な増加は現金及び預金133億8千万円、商品及び製品64億3千万円、機械装置及び運搬具(純額)43億5千6百万円、建物及び構築物(純額)29億8千9百万円、電子記録債権20億9千万円であり、主な減少は受取手形及び売掛金56億6千5百万円、投資有価証券53億8千4百万円であります。

負債は1,226億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ174億9千1百万円増加しました。主な増加は長期借入金83億9千3百万円、支払手形及び買掛金35億9千6百万円、短期借入金32億1百万円、未払法人税等27億4千6百万円であります。

純資産は2,692億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億4百万円増加しました。主な増加は為替換算調整勘定58億4千6百万円であり、主な減少は自己株式26億5千万円であります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、182億8千8百万円の収入(前年同期は147億7千4百万円の収入)となりました。これは主に棚卸資産の増加額が53億2千1百万円あったものの、税金等調整前中間純利益が165億7千4百万円、減価償却費が74億7千8百万円あったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、27億9千1百万円の支出(前年同期は164億9千万円の支出)となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入が94億4百万円あったものの、有形固定資産の取得による支出が119億7千7百万円あったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、36億9千1百万円の支出(前年同期は95億6千1百万円の支出)となりました。これは主に長期借入れによる収入が150億円あったものの、自己株式の取得による支出が92億5百万円、親会社の配当金の支払額が59億7千8百万円、長期借入金の返済による支出が36億6百万円あったことによるものです。

以上の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ132億3千5百万円増加し、711億6千1百万円(前年同期は520億3千4百万円)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、引き続き緩やかな回復基調にあるものの、地政学的リスクや為替変動リスクに加え、関税リスクによる景気の下振れリスクがあり、慎重な見方が必要であると考えています。

このような状況において、当社グループは事業環境の変化に対応し、株主価値を高める経営資本の最適化を進め、グローバルな成長市場で既存ビジネスの拡大と新事業・新製品の展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、2025年5月13日に公表いたしました2026年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、2025年11月11日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,425	68,805
受取手形及び売掛金	63,112	57,447
電子記録債権	1,529	3,619
有価証券	4,337	3,383
商品及び製品	44,917	51,348
仕掛品	1,397	1,336
原材料及び貯蔵品	25,227	25,273
その他	11,075	12,773
貸倒引当金	△229	△152
流動資産合計	206,794	223,833
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	48,231	51,221
機械装置及び運搬具(純額)	26,252	30,608
その他(純額)	34,834	34,140
有形固定資産合計	109,317	115,970
無形固定資産		
のれん	640	569
その他	3,411	3,215
無形固定資産合計	4,051	3,785
投資その他の資産		
投資有価証券	35,393	30,008
退職給付に係る資産	11,032	11,250
その他	7,168	7,103
貸倒引当金	△49	△49
投資その他の資産合計	53,544	48,314
固定資産合計	166,914	168,070
資産合計	373,708	391,904

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,869	23,466
短期借入金	7,212	10,414
未払金	18,797	19,058
未払法人税等	1,492	4,238
その他	8,234	8,103
流動負債合計	55,606	65,281
固定負債		
社債	14,000	14,000
長期借入金	20,884	29,277
退職給付に係る負債	434	343
その他	14,263	13,776
固定負債合計	49,581	57,397
負債合計	105,188	122,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	15,861	15,869
利益剰余金	202,714	201,961
自己株式	△6,527	△9,178
株主資本合計	226,981	223,585
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,374	10,603
為替換算調整勘定	23,422	29,268
退職給付に係る調整累計額	4,749	4,780
その他の包括利益累計額合計	40,546	44,652
非支配株主持分	992	985
純資産合計	268,520	269,224
負債純資産合計	373,708	391,904

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
売上高	109,109	113,575
売上原価	74,263	79,715
売上総利益	34,846	33,859
販売費及び一般管理費	23,685	23,241
営業利益	11,160	10,618
営業外収益		
受取利息	495	293
受取配当金	594	590
持分法による投資利益	36	174
その他	540	493
営業外収益合計	1,667	1,552
営業外費用		
支払利息	78	202
為替差損	825	837
その他	257	287
営業外費用合計	1,161	1,326
経常利益	11,666	10,843
特別利益		
固定資産売却益	0	10
投資有価証券売却益	14	6,212
特別利益合計	15	6,222
特別損失		
固定資産処分損	463	491
投資有価証券評価損	2,576	-
特別損失合計	3,039	491
税金等調整前中間純利益	8,641	16,574
法人税、住民税及び事業税	3,052	4,091
法人税等調整額	△424	748
法人税等合計	2,627	4,840
中間純利益	6,014	11,734
非支配株主に帰属する中間純利益	40	45
親会社株主に帰属する中間純利益	5,974	11,689

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	6,014	11,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,077	△1,771
為替換算調整勘定	△4,522	5,856
退職給付に係る調整額	△111	30
持分法適用会社に対する持分相当額	2	1
その他の包括利益合計	△5,708	4,117
中間包括利益	305	15,851
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	288	15,795
非支配株主に係る中間包括利益	17	55

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	8,641	16,574
減価償却費	6,709	7,478
のれん償却額	71	70
引当金の増減額(△は減少)	128	△121
受取利息及び受取配当金	△1,090	△884
支払利息	78	202
為替差損益(△は益)	210	387
持分法による投資損益(△は益)	△36	△174
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△10
有形固定資産処分損益(△は益)	463	491
投資有価証券売却損益(△は益)	△14	△6,212
投資有価証券評価損益(△は益)	2,576	-
売上債権の増減額(△は増加)	180	4,705
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,669	△5,321
前払費用の増減額(△は増加)	△388	△392
未収入金の増減額(△は増加)	586	800
前渡金の増減額(△は増加)	△156	△184
仕入債務の増減額(△は減少)	3,658	3,260
未払金の増減額(△は減少)	△1,304	△69
未払費用の増減額(△は減少)	789	△178
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△12	131
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△306	△497
その他	574	△410
小計	15,689	19,646
利息及び配当金の受取額	1,214	883
利息の支払額	△73	△231
法人税等の支払額	△2,493	△2,421
法人税等の還付額	437	411
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,774	18,288

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△22	△629
定期預金の払戻による収入	22	954
短期貸付けによる支出	△154	-
有形固定資産の取得による支出	△14,253	△11,977
有形固定資産の売却による収入	0	10
無形固定資産の取得による支出	△726	△123
有価証券の取得による支出	△108	△0
投資有価証券の取得による支出	△863	△49
投資有価証券の売却による収入	18	9,404
有価証券の償還による収入	49	381
関係会社株式の取得による支出	-	△35
長期前払費用の取得による支出	△216	△444
固定資産撤去に伴う支出	△287	△287
その他	50	7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,490	△2,791
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	196
長期借入れによる収入	-	15,000
長期借入金の返済による支出	△2,750	△3,606
自己株式の取得による支出	△3,000	△9,205
配当金の支払額	△3,721	△5,978
非支配株主への配当金の支払額	△47	△62
その他	△41	△35
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,561	△3,691
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,464	1,430
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△12,742	13,235
現金及び現金同等物の期首残高	64,777	57,926
現金及び現金同等物の中間期末残高	52,034	71,161

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

① 自己株式の取得

当社は、2024年11月11日及び2025年3月28日の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において自己株式6,871,400株を9,204百万円で取得しました。

② 自己株式の消却

当社は、2025年5月13日の取締役会決議に基づき、2025年5月23日付で自己株式5,003,570株の消却を行いました。これにより、その他利益剰余金6,446百万円、自己株式が6,446百万円減少しております。

③ 自己株式の処分

当社は、2025年6月26日の取締役会決議に基づき、2025年7月18日付で、譲渡制限付株式報酬として自己株式84,307株の処分を行いました。これにより、その他利益剰余金108百万円、自己株式が108百万円減少しております。

これらの結果、当中間連結会計期間末の利益剰余金が201,961百万円、自己株式が9,178百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モビリティ&イ メージング事業 領域	ファインケミカ ルズ事業領域	ライフサイエン ス事業領域	計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,996	32,618	30,495	109,109	—	109,109
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	87	0	87	△87	—
計	45,996	32,705	30,495	109,196	△87	109,109
セグメント利益	7,025	4,904	3,589	15,519	△4,358	11,160

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,358百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,310百万円及びセグメント間取引消去△47百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	モビリティ&イ メージング事業 領域	ファインケミカ ルズ事業領域	ライフサイエン ス事業領域	計		
売上高						
外部顧客への売上高	46,269	34,245	33,060	113,575	—	113,575
セグメント間の内部売上 高又は振替高	6	106	0	113	△113	—
計	46,276	34,352	33,060	113,689	△113	113,575
セグメント利益	5,208	4,965	5,316	15,490	△4,871	10,618

(注) 1 セグメント利益の調整額△4,871百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,809百万円及びセグメント間取引消去△62百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。